

プログラム

A 会場

10:40-12:00 中枢神経①
座長： 古屋敷 智之（神戸大学）
橋本 均（大阪大学）
コメンテーター： 出山 諭司（金沢大学）
西村 有平（三重大学）



A-1-1 ランニングホイール回転行動に対する欲求制御における内側前頭前野の役割

10:40 ○谷口 遥海¹、西谷 直也^{1,2}、金田 勝幸^{1,2}
10:52 ¹金沢大・院薬・薬理、²金沢大・薬・薬理



A-1-2 ヒト人工多能性幹細胞由来大脳皮質オルガノイドを用いた脳発達ならびにアルツハイマー病脳病態における原始マクロファージ/ミクログリアの機能解析

10:52 ○原田 考輝¹、山田 志歩¹、西村 周泰²、高田 和幸¹
11:04 ¹京都薬科大・院薬・シナジーラボ、²同志社大・院脳科学・脳回路機能創出部門



A-1-3 Activation of KCNQ2 channels in D1-MSNs attenuates cocaine-seeking behavior in mice during withdrawal.

11:04 ○周 昕竹¹、張 心健¹、船橋 靖弘²、坪井 大輔²、窪田 悠力¹、貝淵 弘三²、永井 拓¹
11:16 ¹藤田医科大・精神神経病態セ・神経行動薬理、²藤田医科大・精神神経病態セ・細胞生物



A-1-4 CNOT4 and Translational Regulation: Unveiling Mechanisms of Skeletal Muscle Repair in a Sarcopenia Mouse Model

11:16 ○Khin Kyaemon Thwin、Yasuha Kinugasa、Yumiko Imai
11:28 Medical Infection System Department, Research Institute, Nozaki Tokushukai Hospital



A-1-5 β_2 アドレナリン受容体の光遺伝学的阻害法の開発

11:28 ○大谷 鈴華¹、萩原 雅子¹、白川 久志¹、永安 一樹^{1,2}
11:40 ¹京都大・院薬・生体機能解析学、²大阪大・院薬・神経薬理



A-1-6 肥満時の歯周病はミクログリアの活性化を介して認知機能障害を引き起こす

11:40 ○吾郷 由希夫¹、山脇 洋輔²、駿河 拓矢³、田村 哲也⁴、應原 一久⁴、森岡 徳光⁵、
11:52 花本 博^{6,7}、大植 香菜⁷
¹広島大・院医（歯）・細胞分子薬理学、²第一薬科大・薬・薬物治療学、³広島大・歯、
⁴広島大・院医（歯）・歯周病態学、⁵広島大・院医（薬）・薬効解析科学、⁶広島大・院医（歯）・
歯科麻酔学、⁷広島大病院・歯科麻酔科

A 会場

13:40-15:00 中枢神経②
座長： 酒井 規雄（広島大学）
吾郷 由希夫（広島大学）
コメンテーター： 一瀬（鷺見） 千穂（藤田医科大学）
西村 周泰（同志社大学）



A-2-1 アミロイドβオリゴマー誘発性神経細胞毒性に対するエルゴチオネインの抑制効果

13:40 ○石田 敦士^{1,2,3}、小口 達敬^{1,2}、辻 まゆみ²、中西 達彌^{1,2,3}、片岡 和之^{1,2,3}、木内 祐二^{1,2}
13:52 ¹昭和大学大学院医学研究科医科薬理学分野、²昭和大学薬理科学研究センター、³昭和大学
大学院医学研究科脳神経内科学分野

A-2-2 マウスのノルアドレナリン神経系に及ぼすアルビノの影響

13:52 ○居場 嘉教、川西 咲弥、西川 真由、山下 葉平
14:04 摂南大・理・病態薬理


A-2-3 CGRP欠損が引き起こすHSP90減少とパーキンソン病様症状の関連性

14:04 ○橋川 成美、石川 晴貴、江田 康耀、小野 杏花、橋川 直也
14:16 岡山理科大 理

A-2-4 臨界期マウス視覚野におけるプロテオーム解析

14:16 ○及川 弘崇
14:28 鈴鹿医療科学大・薬

A-2-5 多発性硬化症に対するウルソデオキシコール酸投与の影響

14:28 ○藺田 悠平^{1,2}、相澤 風花^{1,2}、西橋 彩香¹、八木 健太^{1,3}、新村 貴博^{1,3}、合田 光寛^{1,2}、
14:40 川田 敬^{1,4}、石澤 有紀^{1,5}、石澤 啓介^{1,2,3}
 ¹徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床薬理学分野、²徳島大学病院 薬剤部、³徳島大学病院 総合臨床研究センター、⁴徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床薬学実務教育学分野、⁵医療法人会 田岡病院 総合診療科

A-2-6 PERIOD2 (PER2) P988L変異による睡眠相前進症候群発症機序の解明

14:40 ○白藤 俊彦¹、玉田 紘太¹、山本 真里奈¹、黒澤 信幸²、内匠 透¹
14:52 ¹神戸大・院医・生理、²富山大・院工

A 会場

15:20-16:30 中枢神経③・末梢神経
座長： 新谷 紀人（和歌山県立医科大学）
森岡 徳光（広島大学）
コメンテーター： 及川 弘崇（鈴鹿医療科学大学）
白川 久志（京都大学）



A-3-1 HMGB1は線維筋痛症の発症・維持に関与する

15:20 ○三井 鈴華¹、岸本 彩野¹、坪田 真帆¹、友野 靖子²、西堀 正洋²、川畑 篤史¹
15:32 ¹近畿大・薬・病態薬理、²岡山大院・医歯薬・創薬研究推進



A-3-2 スタチン類によるオキサリプラチン誘発性末梢神経障害の抑制メカニズムの解明

15:32 ○宮崎 大夢¹、濱野 裕章¹、武田 達明²、飯田 緑³、山西 芳裕⁴、座間味 義人¹
15:44 ¹岡山大・院医歯薬・臨床薬剤学、²岡山大・薬・臨床薬学教育研究センター、³九州工業大・院情報工学・物理情報工学、⁴名古屋大・院情報学・生命情報論



A-3-3 Ca_v3.2 T型Ca²⁺チャネル活性のサルファイドによる上昇とポリサルファイドによる低下：亜鉛と酸素の影響

15:44 ○森田 華帆、大城 こころ、南郷 優希、増田 寛志、笠波 嘉人、関口 富美子、
15:56 川畑 篤史
近畿大・薬・病態薬理



A-3-4 徐放性H₂S供与体 GYY4137 および硫化剤 Lawesson's reagent はNa₂SによるCa_v3.2 T型Ca²⁺チャネル機能亢進効果を再現できない

15:56 ○関口 富美子¹、坂本 結菜¹、南郷 優希¹、笠波¹、田邊 元三²、川畑 篤史¹
16:08 ¹近畿大・薬・病態薬理、²近畿大・薬・有機薬化

A-3-5 2型糖尿病に伴う有痛性末梢神経障害の発症におけるHMGB1の役割と起源：血小板の関与と白血球-血小板複合体形成の意義について

16:08 ○坪田 真帆¹、大東 麻哉¹、圓尾 賢悟¹、中野 遥¹、佐久間 海地¹、岩根 詩織^{1,2}、
16:20 関口 富美子¹、友野 靖子³、西堀 正洋³、川畑 篤史¹
¹近畿大・薬・病態薬理、²摂南大・薬・臨床薬学、³岡山大院・医歯薬・創薬研究推進

B 会場

10:40-12:00 心・血管
座長： 藤尾 慈（大阪大学）
近藤 一直（藤田医科大学）
コメンテーター： 高井 真司（大阪医科薬科大学）
喜多 紗斗美（徳島文理大学）



B-1-1 筋線維芽細胞の代謝に着目した新規線維化促進メカニズムの解明

10:40 ○渡邊 颯人¹、瀧澤 宣郎¹、末次 春菜¹、吉岡 啓佑¹、仲矢 道雄^{1,2}
10:52 ¹九州大・院薬・疾患制御学、²名古屋大・環研・疾患制御学



B-1-2 心筋梗塞病態におけるミエロイド細胞由来 TGF β 3 の病態生理学的意義解明

10:52 ○梶浦 僚太、藤尾 慈
11:04 大阪大・薬・臨床薬効解析学



B-1-3 Cardioprotective effects of finerenone associated with the suppression of myocardial sodium buildup in salt/aldosterone-loaded rats

11:04 ○ラフマン アサドウール¹、達哉 澤野²、北田 研人¹、武史 今村²、西山 成¹
11:16 ¹香川大学医学部薬理学、²鳥取大学医学部薬理学

B-1-4 hERG 電位依存性カリウムチャネル活性化のアロステリック制御機構

11:16 ○古谷 和春¹、和田 友睦¹、コルテス アイアナ²、ボロビョーフ イゴール²、
11:28 ヨロフヨロボー ヴラディーミル²、喜多 紗斗美¹
¹徳島文理大・薬・薬理、²カリフォルニア大デービス・生理

B-1-5 心筋細胞の伸展誘発性張力増加反応の制御機構における TRPC6 チャンネルの役割

11:28 ○山口 陽平¹、金子 智之²、梶栗 潤子¹、鬼頭 宏彰¹、大矢 進¹
11:40 ¹名古屋市立大・院・医、²旭川医科大・医

B-1-6 高血圧モデルラットにおけるトウキ葉の降圧効果について

11:40 ○糸山 健斗、小原 幸、鳥羽 裕恵、中田 徹男
11:52 京都薬大 臨床薬理

B 会場

13:40-15:00 免疫関連細胞・器官①
座長： 大矢 進（名古屋市立大学）
福石 信之（金城学院大学）
コメンテーター： 坪田 真帆（近畿大学）
原 雄大（近畿大学）



B-2-1

ミクログリアにおける細胞質 mitochondrial DNA は LPS 誘導性 IFN β 産生を増強する

13:40

13:52



○中野 雅風矢、中村 庸輝、中島 一恵、森岡 徳光
広島大学・大学院医系科学研究科・薬効解析科学

B-2-2

リゾホスファチジン酸受容体1は実験的自己免疫性脳脊髄炎における炎症および病態増悪に寄与する

13:52

14:04



○植村 風¹、松尾 風紗¹、谷山 一修¹、中島 弘貴¹、永安 一樹¹、金子 周司¹、
植田 弘師²、白川 久志¹
¹京都大・院薬・生体機能解析、²生産開発研・疼痛科学

B-2-3

マスト細胞・好塩基球の活性化への小胞体ストレスセンサー阻害薬 KIRA6 の影響

14:04

14:16



○松嶋 剛志¹、岡本 花乃²、松井 優里²、梅田 渚²、吉井 美智子¹、中川 直³、石井 香⁴、
田中 暁生⁴、柳瀬 雄輝¹、細井 徹³、小澤 光一郎¹
¹広島大・院医系科学・治療薬効学、²広島大・薬・治療薬効学、³山陽小野田市立山口東京
理科大・薬・臨床薬理学、⁴広島大・院医系科学・皮膚科学

B-2-4

喘息様症状におけるケモカイン CCL28 を介した Th2 細胞浸潤の役割

14:16

14:28



○急式 杏樹、原 雄大、花里 文菜、松尾 一彦、中山 隆志
近畿大・薬・化学療法

B-2-5

Probiotics: FK-23 のマクロファージを介した Th17 分化抑制

14:28

14:40

○藤田 隆司¹、青山 朋子¹、五藤 健児²、吉川 敏一²
¹立命館大・薬・分子薬効毒性、²ニチニチ製薬・中央研

B-2-6

SERPIN ファミリータンパク Antithrombin は C-type lectin family 1A を介し好中球機能を制御する：天然タンパクと組換えタンパクの活性比較

14:40

14:52

○高橋 陽平^{1,2}、SoeSoe Htwe³、友信 奈保子⁴、和氣 秀徳⁵、木下 理恵⁴、村田 等⁴、
阪口 政清⁴、西堀 正洋¹
¹岡山大・院医歯薬 創薬研究推進室、²川崎医療福祉大・医技 臨床検査学科、³ヤンゴン
第一医科大 薬理学、⁴岡山大・院医歯薬 細胞生物学、⁵近畿大・医 薬理学

B 会場

15:20-16:30 免疫関連細胞・器官②
座長： 見尾 光庸（就実大学）
今井 由美子（徳洲会病院）
コメンテーター： 関口 富美子（近畿大学）
新村 貴博（徳島大学）



B-3-1 M₂様マクロファージにおけるLRRC8A Cl⁻チャネル阻害によるNOX2-Nrf2-CEBPBシグナル経路を介したIL-10転写・産生の抑制

15:20

15:32

松井 未来、梶栗 潤子、鬼頭 宏彰、山口 陽平、○大矢 進
名市大・院医・薬理

B-3-2 IL-19シグナルとCCL2発現制御による肝線維化抑制メカニズムの解明

15:32

15:44

○東 泰孝¹、小野 尚重¹、藤田 隆司²
¹大阪公大・獣医・薬理、²立命館大・薬・分子毒性

B-3-3 TNBS誘起マウス大腸炎におけるpeptidylarginine deiminase 2および4の役割

15:44

15:56

○安田 浩之¹、斉藤 美知子²、林 周作¹、加藤 伸一¹
¹京都薬大、²京都薬大・バイオサイエンス研セ

B-3-4 肥満細胞に発現するGPR3は脱顆粒応答とサイトカイン産生を抑制する

15:56

16:08

○田中 茂¹、浜川 雄輝¹、柳瀬 雄輝²、白樺 紘子¹、原田 佳奈¹、秀 和泉¹、
酒井 規雄¹
¹広島大・院医・神経薬理、²広島大・院医・治療薬効

B-3-5 腫瘍内マクロファージの低酸素誘導因子が腫瘍組織環境に及ぼす影響の検討

16:08

16:20

○松永 慎司、平川 遼、本間 拓二郎、富田 修平
大阪公立大・院医・分子病態薬理

C 会場

10:40-12:00 細胞・細胞内器官・分子
座長： 川畑 篤史（近畿大学）
藤野 裕道（徳島大学）
コメンテーター： 橋川 成美（岡山理科大学）
濱村 和紀（愛知学院大学）



C-1-1 脂質メディエーターの産生調節におけるABCA7の役割

10:40 ○川野 智代¹、山崎 杏珠¹、小野 紗楓¹、中神 心那¹、高濱 謙太郎²、小川 直也²、
10:52 堂前 純子³、浅井 遥¹、福石 信之¹



¹金城学院大・薬薬理、²名古屋大・全学技術セ、³中部大・応用生物 応用生物

C-1-2 PGD₂代謝物 15-keto-PGD₂のヒトCRTH2受容体へのバイアス作用と役割解明

10:52 ○篠原 万侑、蓮岡 奈苗、縣 美穂、福島 圭穂、藤野 裕道
11:04 徳島大・院薬・生命薬理



C-1-3 新規抗がん剤候補化合物ACA-28耐性骨肉腫細胞に対してACA-28のがん細胞増殖阻害効果を増強する方法—新規抗がん剤候補化合物ACA-28耐性機構と抗がん作用増強におけるNRF-2の役割—

11:04
11:16

○泉 大地、高崎 輝恒、杉浦 麗子
近畿大・薬・分子医療ゲノム創薬

C-1-4 分裂酵母プロテインキナーゼCのストレス顆粒移行の制御機構とMAPKシグナル経路活性化の関わり

11:16
11:28

○秦 しほみ、富本 尚史、高崎 輝恒、杉浦 麗子
近畿大・薬・分子医療ゲノム創薬

C-1-5 mTOR阻害剤Rapamycinはパーキンソン病モデル分裂酵母細胞においてヒト α -synucleinの凝集形成を抑制する

11:28
11:40

○山田 琉雅、杉本 恵崇、高崎 輝恒、杉浦 麗子
近畿大・薬・分子医療ゲノム創薬

C-1-6 新規蛍光基質を用いた酸性セラミダーゼのリアルタイム活性測定法

11:40
11:52

○坪井 一人¹、青木 太一¹、五熊 さくら¹、水田 啓太^{1,2}、北風 圭介¹、竹之内 康広¹、
石丸 浩靖¹、岡本 安雄¹

¹川崎医科大・医・薬理、²奈良県立医科大・医

C 会場

13:40-15:00 平滑筋・骨格筋・細胞内器官・分子・遺伝子・その他

座長： 上山 健彦（神戸大学）

石澤 啓介（徳島大学）

コメンテーター： 田中 茂（広島大学）

原（野上） 愛（就実大学）



C-2-1 一酸化窒素によるエピゲノム制御に基づく新型コロナウイルス後遺症発症機序

13:40

13:52



○森谷 祐斗¹、久保田 翔¹、大塚 勇輝²、森本 睦¹、松下 洋輔³、徳増 一樹²、
高杉 展正¹、片桐 豊雅³、大塚 文男²、上原 孝¹

¹岡山大・院医歯薬・薬効解析学、²岡山大・院医歯薬・総合内科学、³医薬基盤研・生体機能分子制御

C-2-2 Regulation of chromatin structure under COVID-19

13:52

14:04

○衣笠 泰葉、キン キャエモントウイン、今井 由美子

野崎徳洲会病院附属研・メディカル感染システム

C-2-3 マトリセルラータンパク質 SMOC1 の内耳機能における役割の解析

14:04

14:16

○小野 和也、太田 岳、日比野 浩

大阪大・医・統合薬理

C-2-4 Protective Role of Muscle-Derived Apelin in a Mouse Model of PICS-Like Syndrome

14:16

14:28

○今井 由美子¹、衣笠 泰葉¹、新谷 勇介²、橋本 均²

¹徳洲会病院・研究所・メディカル感染システム、²大阪大・薬学・神経薬理

C-2-5 ホホバオイルを用いたスポーツマッサージによる運動誘発性炎症軽減の可能性

14:28

14:40

○松本 裕¹、鈴木 克彦²

¹東海大・院医・看護、²早稲田大・スポーツ科学

C-2-6 針状ダイヤモンド電極による抗がん薬動態の皮膚内連続計測および心電図との同時モニタリング

14:40

14:52

Ahmad Norzahirah Binti¹、緒方 元気²、太田 岳¹、栄長 泰明²、○日比野 浩¹

¹大阪大・院医・薬理、²慶應大・理工・化学

C 会場

15:20-16:32 腎・泌尿器・内分泌器官・血液・リンパ
座長： 柳田 俊彦（宮崎大学）
天ヶ瀬 紀久子（立命館大学）
コメンテーター： 勝山 真人（京都府立医科大学）
合田 光寛（徳島大学）



C-3-1 ポドサイトにおける転写因子 OASIS は高リン負荷誘発腎障害に関与する

15:20 ○長曾我部 怜也、藤尾 慈
15:32 大阪大・薬・臨床薬効解析学



C-3-2 腎急性虚血再灌流後に誘導される細胞外マトリックス SPARC の役割

15:32 ○鳥羽 裕恵^{1,2}、金 徳男²、高井 真司²
15:44 ¹京都薬科大・薬・臨床薬理、²大阪医科薬科大・医・薬理

C-3-3 単離臍島を用いたミトコンドリアタンパク質 p13 の機能解析

15:44 ○今岡 伸太郎¹、野口 雅史¹、岩田 圭子¹、新谷 紀人^{1,2}
15:56 ¹和歌山県立医科大・薬・薬品作用、²大阪大・院薬・神経薬理



C-3-4 DNA-encoded library を用いたグレリン受容体作動薬の創製

15:56 ○椎村 祐樹^{1,2}、伊藤 幸裕³、林 到炫²、岡田 咲良³、松井 一真¹、岩田 想²、鈴木 孝禎³、
16:08 佐藤 貴弘¹
¹久留米大・分生研・遺伝情報、²京都大・院医・分子細胞情報、³大阪大・産研・複合分子化学

C-3-5 蛇毒由来成分ボトロセチンの組み換え体 rBot2 とその変異体 mrBot2 がマウス血小板凝集（agglutination）に与える影響

16:08 ○狩野 泰輝¹、菅沼 由唯¹、小川 律妃¹、大原 玄德¹、池本 和久¹、一瀬 千穂¹、
16:20 松井 太衛²、近藤 一直¹
¹藤田医科大・医・薬理、²藤田医科大・医療・生物

C-3-6 エリスロポエチンによるインスリン抵抗性改善機序の解明

16:20 ○岩倉 健斗、鳥羽 裕恵、小原 幸、中田 徹男
16:32 京都薬科大・薬

